

Eastspring Asia Now

Vol.53

ラマダン2019年（インドネシア）

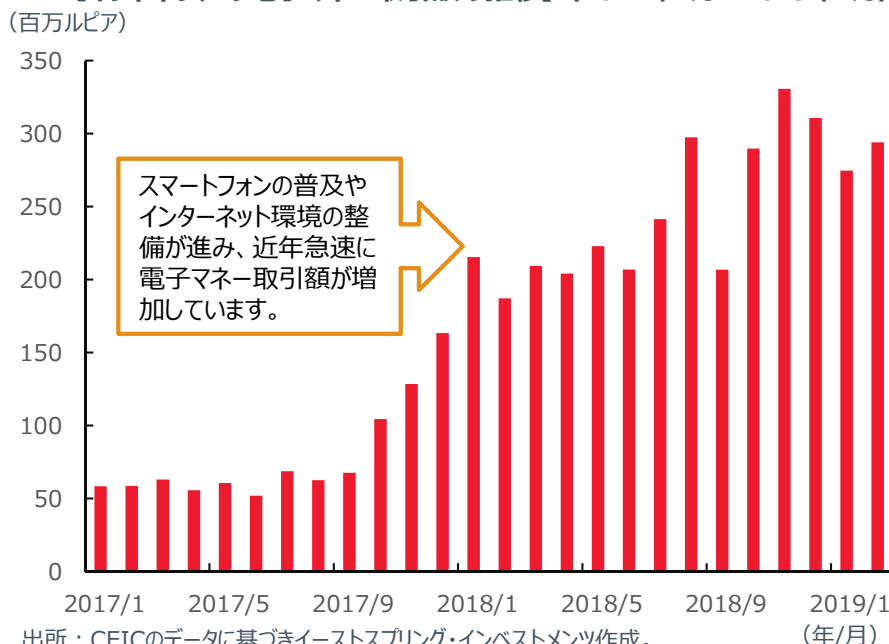
eastspring
investments

今年のラマダンは5月5日（日）から約1ヵ月

「レバラン」休暇は9日間—消費増加に期待—

- ▶ イスラム教において重要なイベントである「ラマダン」が今年は5月5日から始まりました。約1ヵ月続くラマダン期間中に、イスラム教徒は義務の一つである「断食（サウム）」として、日の出から日没までの間飲食を断ちます。国民の約9割がイスラム教徒であるインドネシアでは、イスラム教徒以外の人達も断食を行っている人達の前では飲食や喫煙を控える等、イスラム教徒に配慮した生活を行います。
- ▶ ラマダンが終わると、「レバラン（イドゥル・フィットリ）」と呼ばれる断食明けの大祭が行われます。レバランは通常2日間の祝日となり、今年は6月5～6日です。また、インドネシア政府が有給休暇一斉消化日を3日間としたため、今年のレバラン休暇は6月1日～6月9日までの9日間となります。
- ▶ レバラン休暇の代表的な過ごし方は帰省で、帰省前に服や靴を新調したり、親戚にお年玉の様なものやお土産を渡したりします。
- ▶ さらに、インドネシアではレバランボーナスの支給が義務付けられているため、ボーナスでレバランのお祝いの品を買う他、家電や車を買換えたりと個人消費が活発になります。
- ▶ レバランが近づくと各地でセールが始まり、消費を後押しします。インドネシアの乗用車販売台数を見ると、昨年5月17日に始まったラマダン期間中の5月と、レバラン後の7月の販売台数が多くなっています。昨年は6月に最長12日のレバラン休暇があったため、6月の販売台数は減少していますが、レバラン前後に高額商品の購入が増加する傾向が窺えます。

【インドネシアの電子マネー取引額の推移】（2017年1月～2019年2月）



伝統行事にも電子マネー

- ▶ インドネシアは人口に占める若者の割合が多く、スマートフォンの普及が進んでいることもあり、電子マネーサービスが広く普及しています。最近では、地方でのインターネット環境の整備が進んだこともあり、帰省時の親戚の子供たちへのお小遣いも、電子マネーで贈ることが増えていると言われています。
- ▶ 昨年の電子マネー取引額をみると、ラマダン期間中の5月の取引額は、前月より約9%増加しています。これは、ラマダン期間中に娯楽施設の営業時間が短縮されている間、自宅でネット通販等で買い物をする人が増えていることが影響していると考えられます。日没後の食事をアプリを利用したフードデリバリーで注文し、決済を電子マネーで行う人も多く、今後さらにインターネット環境が整備されれば、電子商取引を利用した個人消費のさらなる増加が見込まれます。



インドネシアで高いシェアを持つ「ゴジェック」のアプリ。フードデリバリーや通販等、様々なサービスをスマートフォンで気軽に利用できる。写真は弊社社員撮影。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。※また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。※また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。*2018年、アジア・インベスター・アセット・マネジメント・アワード（アジアインベスター誌選出、2017年度対象）をイーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドが受賞。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



アジア・ファンド・ハウス・オブ・ザ・イヤー受賞*
イーストスプリング、アジアにおける最優秀運用会社に！3度目の受賞

190508 (01)